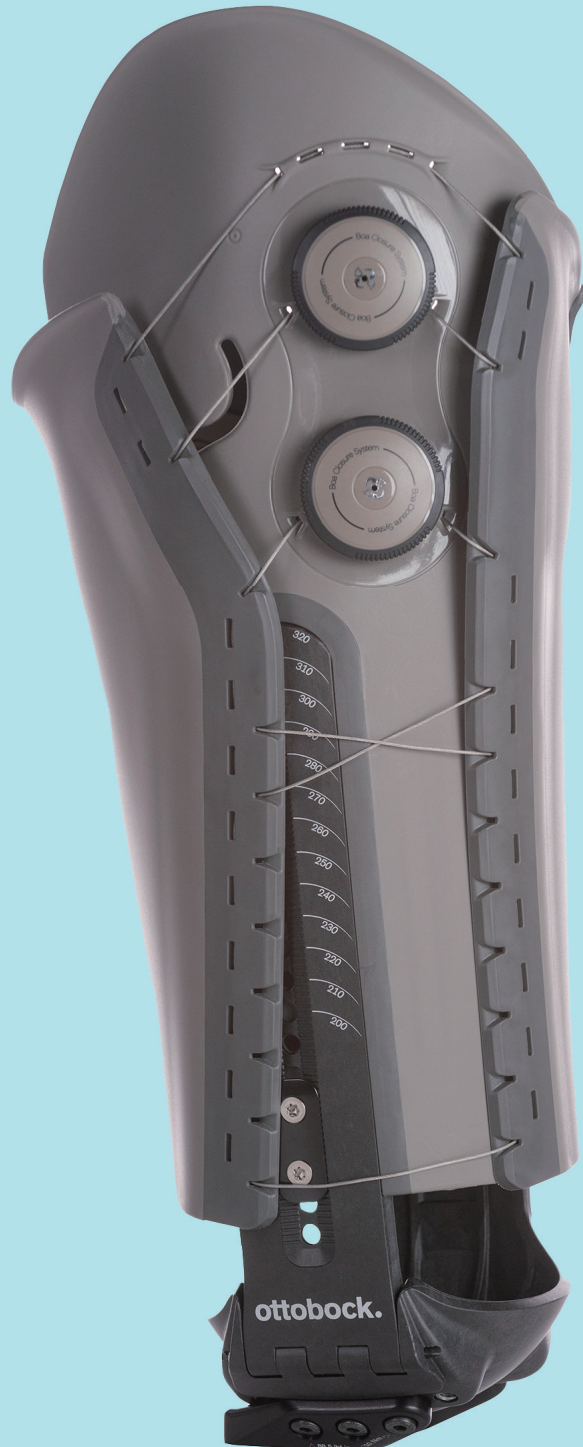


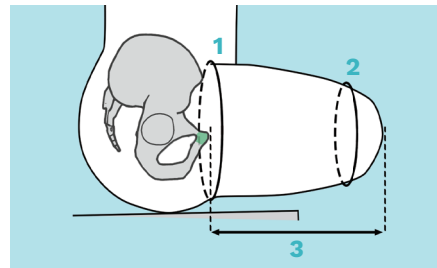
ottobock.

Varos.

フィッティングガイド

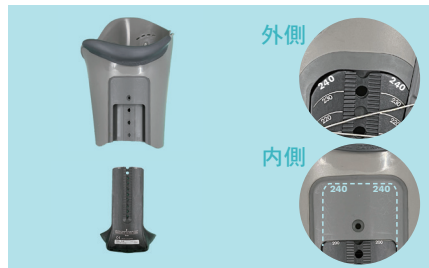


サイズ選択と組立



断端（ライナーなし）をイスに座った状態で採寸します。

1. 近位断端周径（会陰部）
 2. 断端末 5cm 周径
 3. 断端長（会陰部から断端末）
- ソケットサイズを選択します。
※サイズ表は最終ページ参照



ソケットを断端長と同じに長さに組み立てます。写真は断端長が 24cm の場合。フィッティングではソケット長を積極的に変更して適合を進めます。

履き方



ダイヤルを外に引き上げケーブルのロックを解除します。ソケットを開きます。



イスに座ってソケットを装着します。奥まで確実に装着できると『カチッ』と音がします。ソケットの向きを合わせるため、姿勢よく座り義足の下腿部が床から垂直に立ち上がるように装着します。



ダイヤルを押し込みロックします。ダイヤルを回しソケットを締めます。締め具合は、緩くなく、きつ過ぎず、快適な締めつけ感が目安です。立ち上がり義足側に少し荷重します。緩ければダイヤルを増し締めします。

脱ぎ方



イスに座ります。ダイヤルを外に引き上げてケーブルのロックを解除し、ソケットを開きます。



ソケットの内側と外側に親指をかけ、ソケットを押して外します。

注意

立位で義足へ荷重したままダイヤルのロックを解除しないで下さい。ソケットが急に開き転倒の恐れがあります。

フィッティング



ソケット調整の順序

内股、断端末への痛みがある場合、形を変えたりスポンジを貼る前に、ダイヤルの締め方を何度か試した上で、ソケットの長さ調整を積極的に行ってください。適合がスムーズに進みます。

坐骨のフィッティング

坐骨が浮いても OK です。坐骨の位置は気にせずダイヤルの締め具合とソケットの長さ調整で痛みのない適合を目指してください。Varos ソケットには坐骨のフィッティングについて決まりはありません。

Advanced より高度に



坐骨へのサポートを行う場合

内股をヒートガンで熱し下げます。内股が痛くないギリギリまでソケットを長くします。ヒートガンで集中的に熱すれば 10 分程で軟化します。



外側壁をより適合させる場合

ボアダイヤルの間をヒートガンで熱し、外壁を内側へあおります。ヒートガンで熱すれば 5 分程で軟化します。



マグネティックキャップ溝付

ピン式ライナーに取り付けるアタッチメントです。専用ライナー以外でも Varos ソケットを使用できます。

5E10=M S/SC/M/MC 用



プラスチック製粘着テープセット (10 枚入り)

Varos ソケットに付属する布製滑り止めよりも強力なプラスチック製の滑り止めです。

5E9=M S/SC/M 用

5E9=L MC/L 用

テクニカルデータ

5A60 Varos ソケット (発注品番例 5A60=R-MC)

サイズ	S	SC*	M	MC*	L
モビリティグレード	1 - 4	1 - 4	1 - 4	1 - 4	1 - 4
体重制限	100kg	100kg	100kg	100kg	125kg
近位断端周径 (会陰部) mm	410-510	460-580	460-580	520-650	520-650
遠位断端周径 (断端末から近位 5cm) mm	320-390	320-390	350-440	350-440	400-490
断端長 (会陰部から断端末) mm	200-320	200-320	200-320	200-320	200-320

重さ 1,320g (M サイズ / カットされていない状態)

6Y200 Varos ライナー (発注品番例 6Y200=M-2)

サイズ	S-1	SC*-1	S-2	SC*-2	M-1	MC*-1	M-2	MC*-2	L-1	L-2
近位断端周径 mm (会陰部)	420-490	480-550	450-520	510-580	480-550	530-610	510-580	560-650	530-610	560-650
遠位断端周径 mm (断端末から近位 5cm)	310-350	310-350	330-370	330-370	360-410	360-410	390-440	390-440	400-450	430-490

*C..."conical" (コニカル)

L サイズのライナーは L サイズのソケットのみに使用可能です。

お問い合わせ先